

家庭での約束は

できていますか？

令和5年5月29日

釧路市立芦野小学校 校長 高島 昌之

PTA 会長 松野 史寛

「ゲームやYouTubeなどどのように付き合っていくか？」は、現代の子育てでの一番の課題となっています。ゲームやネット視聴は子どもたちの生活の一部になっているので、取り上げるのは厳しいですし、いずれ情報機器との共存が求められるので早くから訓練をした方が教育的には有りかなと思います。

「注意しても朝からYouTubeを見ている」「勝手に課金をする」「友達申請で仲間外れをする」「ゲームのチャットで悪口を言う」「ゲームの影響で言葉使いが荒くなっている」等のトラブルや事例が、去年は芦野小学校でも起きています。

そこで、芦野小学校では、「安全手帳」の最終頁にも掲載している「釧路市のルール」を基本に提案をさせて頂き、定期的な「アンケート調査」で実態調査をするなどして啓発をしているところです。

家での使用時間

2時間以内

親に情報機器を
翌日まで預ける時刻

午後8時半～

ノーゲームデー

週一回

ルールのない（あっても実行できていない）環境は「悪影響」しかありません。各家庭で必ず約束を決めてその結末を子どもに体験させて下さい。

ゲームやネットとの関わりは「家庭教育」の責任範囲なので、学校発信の時間や回数あくまで目安です。依存を防ぐには、情報機器との距離を自らうまく取れるかどうかです。時間や回数の設定はお任せします。

3つの項目（「使用時間」「預ける時間」「ノーゲームデー」）は、必ず決めて下さい。欲望を制御する約束をセットにすることで、ゲームやネットに振り回されない生き方（脱依存）を身につけます。